

北川かっぱの会

第23回総会

2018年3月10日(土) 16:00~18:30

中央公民館

議 題

1. 2017年度の活動報告—成果と課題
2. 2018年度の活動方針と年間計画
3. 財政報告と2018年度予算案
4. 新役員選出

1. 2017年度の活動報告—成果と課題

1 北山公園の水環境の改善と在来生物の保護に取り組んできました

北山公園での生物調査結果（2016年度事業）を踏まえて、生物多様性を保全していくために、どのような環境を目標としていくのか、どのような種について目標種（現在生息・生育している種、かつて生息・生育していた種の中で保全や再生が可能と考えられる種、環境を保全していく上でシンボルとなる種）としていくのか、またどのように保全していくのかなどについて、北山公園整備計画等意見交換会（以下、「川端会議」と記載）の場で方向付けが行われました。また、水量調査の結果（2016年度事業）、水は足りているが水漏れが多いことを踏まえて、引き続き通年での水（流水と止水）確保を目指し、川端会議の場で具体的な対応策（北川からの取水方法や地下水の利用（浅井戸）、既存池（止水）の活用（改良）、冬水たんぼなど）について検討されてきました。

希少種トウキョウダルマガエル等の卵や幼生（おたまじゃくし）への甚大な被害が危惧された菖蒲まつり後の菖蒲田の水抜き（2016年）について、当会からの保全のための申入れ（2016年9月）を行った結果、市は具体的な対応策（菖蒲田の水路の改修など）を講じることとなり、現在、設計業務実施中です。

しょうちゃん池奥の湿地が乾燥化していることから、これを改善していくために、しょうちゃん池（南側）から導水すること、動植物が生息・生育しやすいしょうちゃん池としていくために、池の水際（水面～湖底）に積まれている玉石を移動し、自然に近い状態の水際（水中の地形）としていくこと、また水際に在来植物の植生帯をつくっていくことを川端会議の場で提案してきました。

在来生物にとって貴重な生息、生育の場となっており、北山公園の景観としてなくてはならない、そして東村山では消滅寸前となってしまった水田（民有地）について、将来にわたり守っていくための仕組みづくり（例えば市民たんぼ）の検討を継続してきていますが、2017年は所有者による稲作が本格的に再開されました。

ウシガエル、ミシシippアカミミガメ（以下、「アカミミガメ」と記載）やアメリカザリガニなど外来生物の駆除に引き続き取り組んできました（後述）。

2 北川や北川流域の環境の改善に取り組んできました

北川では、北川の落差工（小さなダム）解消プロジェクトの中で、落差工の改善策案を検討し、「アユが遡上する北川」を目標に、市民プランという形で具体策の提案を行う予定ですが、基礎データとなる水量調査が十分実施できませんでした。

川そうじ（クリーンアップ）は参加者数が伸び悩んでいる状況にありますが、当会にとって中心となるイベントであることから、さらに活動の輪を広げていくための検討が必要です。

外来生物の防除（後述）も活動の中心になりますが、北川では人為的に放流されたコイについても、在来水生昆虫等の脅威となっているため注視してきました。

2016年1月にかいぼりを実施した北川最上流部、狭山公園内「たっちゃん池」の再生を目指した取組（継続した魚類等調査の実施、池際の水草の再生、外来生物防除など）について、公園管理者等との意見交換や、狭山公園生物多様性保全利用検討会（東京都主催；2017年度に実施）の場で意見交換を行い、水際に水生生物が繁茂するような構造とすること、かいぼり時に排水しやすい構造とすることなどの方向性となってきています。11月には、在来生態系の再生のために、北川の魚類を池に放流しました。

北川の水源涵養域であり、東村山随一の緑地である八国山緑地について、都の「多様な生物が生息する都市公園づくり事業」で合意形成に至ったプランに基づき、工事（伐採や下草刈り、二つ池の浚渫など）が完了したので、望ましい里山生態系が形成されることが期待されます。

多摩湖堤体にシバザクラを植えようとする動きに対しては、希少な植物を守っていくことや堤体にダメージを与えない視点からの検討が必要であることを訴え続け、その動きは凍結されています。

3. 外来生物の防除

引き続き、北山公園を中心に流域の外来生物の防除に取り組んできました。

北山公園では特定外来生物のウシガエルや侵略的外来種のアメリカザリガニが多数繁殖しているため、カゴアミなどを使って捕獲するとともに、北山わんぱく夏まつり時には「ウシガエル捕獲大作戦」を開催し、子どもたちも巻き添えにしながらの捕獲活動を行ってきました。北山公園内「しょうちゃん池」などで繁殖している侵略的外来種アカミミガメの防除については、日光浴ワナで捕獲を継続してきました。以上の結果、昨年は、ウシガエル（成体）106、ウシガエル（幼生）84、アメリカザリガニ 1127、アカミミガメ 5 個体などを捕獲しました。

北川で繁殖している特定外来生物オオフサモの駆除については、駆除作業を行う人員が限られていることから、昨年も実施を見送りました。今後は、参加して楽しめるようなイベントとしていくなどの再検討が必要と思われます。

昨年は、市主催の外来種バスターズ入門講座や外来種の駆除大作戦が開催され、親子連れや中学生など多くの一般市民の参加がありました。市主導のこれらの事業は高く評価できるものであり、市内にも外来生物に対して関心の高い層が一定数、存在することを再認識することになりました。今後は、外来種バスターズ入門講座への参加者との連携や外来種の駆除大作戦の定例化などが課題となります。

外来生物を防除していくためには、市民に対して外来生物の現状と問題点をより強力にアピールしていく必要があると思われますが、北山公園水と緑の掲示板や「北川ルール」の看板、かっぱ通信などでのアピールに加え、新たな方法でのアピールを検討していく必要があると思われます。

4 北川および周辺環境の環境変化を捉えるため、北川の水質や投棄ゴミと併せて、周辺で見られる鳥類などの生息状況について継続的に調べてきました。

【水質調査】

6月4日の全国の川・一斉調査に参加し、例年と同様に北川と前川の調査を担当しました。全般的には、一部を除き透視度が高かったものの、COD濃度の値は全地点で2～4ppmと例年と同様な値となりました。

【ゴミ調査】

北川水辺倶楽部が主体となって毎月実施している「定例川そうじ」では、平成11年度（1999年）から収集したゴミの量を継続して記録してきました。ゴミの総量は平成16年度をピークに減少しているものの、ここ何年かは大幅に減少するような傾向にはなく、今年度は昨年度と同様な結果でした。また、ゴミの内、缶やペットボトルなど「特定ゴミ」の本数は平成15年度をピークに減少し、今年度は昨年度と比較し特定ゴミの内、缶類やビン・ワンカップ等の危険ゴミが減少しています。

【生物調査】

① 北川の魚類等：主に8月6日のわんぱく夏まつりの「北川水族館」展示の機会を利用して調

べました。今年はヨシノボリ、タモロコ、カワムツなどが多くみられました。一方、外来生物のウシガエル（オタマジャクシや成体）、アメリカザリガニを多数捕獲しました

② 北川の底生生物（川底の泥中や石の裏などに棲む生き物）：今年度も全国水生生物調査には参加できませんでした。

③ 北山公園周辺の陸域生物（鳥類・チョウ類・トンボ）：有志の任意観察結果を主体に、夏まつり、みどりの楽校、市内小学生の環境学習（主に6～2月の土曜講座など）などのイベントの際のデータなどが当会HPからリンクされています。これまでのデータの蓄積により、八国山を含めた当会のフィールドの鳥類・チョウ類・トンボ相が明らかになってきました。これらの調査結果の一部は、ホームページで公開しています

5. 北山わんぱく夏まつりの開催と環境学習の支援を推進してきました

北川と流域の自然環境の保全や再生のための活動を推進していくために、主として次世代を担う地域の子どもたちを対象とした環境学習への取り組みに、引き続き力を入れてきました。

最大のイベントのひとつである「北山わんぱく夏まつり」（8/6）は、東村山市など様々な方面からの協力を得て、子どもたちへより多くの楽しいメニューを提供することができました。本年も実行委員会を早期に立ち上げ、検討・準備をすすめました。「夏まつり宣言」により、開催の意義や、私たちの思いを参加者に伝えました。加えて、夏まつり専用のフェイスブックページ、ホームページを作成し広報しました。

ホームページでは夏まつり以外にもイベントごとの特設サイトやかつぱ通信のライブラリ化などを進めました。

小学校の土曜講座には積極的に参画しました。プールのヤゴ救出（5/27 北山小）、狭山公園ホテル観察（6/24 北山小）、八国山の昆虫（6/10 富士見・南台小、7/15 北山小）ヤゴいかだづくり（10/17 北山小 雨天中止）、北川の生き物（9/16 富士見・南台小 雨天中止、9/16 北山小）、空堀川・八国山&北山公園の野鳥観察（11/25、1/6 富士見・南台小）で、児童の川やみどり等についての理解・体験をサポートしました。

土曜子ども講座と北山いきもクラブでは、2017年は雨天中止が頻発しました。

6 市役所や関係団体との連携を図ってきました

昨年も、川端会議などの場で、北川流域の自然環境の保全や再生を目指し、市役所との協働に努力してきました。その結果、北川クリーンアップや北山わんぱく夏まつりの開催、北川カヌー（夏まつり）を実施するための北川の堰き止めと撤去作業、北山公園の外来生物対策の実施などについて、市と連携しながらスムーズに実施することができました。川端会議の場では、北山公園でのトウキョウダルマガエル等の絶滅危惧種の保護や外来生物の防除、菖蒲田の水抜き問題を発端とした菖蒲田の水路の改修などの議論が進みました。

昨年も、狭山公園や八国山緑地等の都立公園を東京都から受託して管理している「西武・狭山丘陵パートナーズ」との連携をさらに深化することができました。7月の「狭山三公園管理運営協議会（東京都が設置、主催は西武・狭山丘陵パートナーズ）」をはじめとし、7月の「狭山公園わいわいミーティング」や2018年1月の「八国山緑地わいわいミーティング」に参加することにより、北川流域の環境保全や復元に向け、意見交換を行うことができました。11月の狭山公園開園80周年記念イベントでは「たっちゃん池」の自然を復元していくために、北川の在来魚を池に放流することができました。また、3月に開催された「春のうららかウォーキング（西武・狭山丘陵パートナーズ主催）」では北川かつぱの会で多数の参加者に北山公園や北川の解説を行うとともに、同月に実施された「狭山公園湧水の池生き物調査（西武・狭山丘陵パートナーズ主催）」では、

狭山公園友の会とともに調査を実施しました。

今年度は、狭山公園について都主催の「多様な生物が生息する都市公園づくり事業」が実施となり、生物多様性保全利用計画を策定する検討会に参加し、意見交換を行っています。

その他、新河岸川水系水環境連絡会と連携し、引き続き6月の全国の川・一斉水質調査に参加するとともに、新河岸川流域しんぶん「里川」への北川関係の原稿作成などにも協力を行なってきました。「北川・八国山・北山公園のいきもの」の編集では、八国山たいけんの里自然部会との協働作業を行ってきました。また、柳瀬川流域水循環再生市民懇談会や柳瀬川流域ネットワークについても参加してきました。

7 地域への情報発信力を強化するとともに、会員内外の交流の拡大を図ってきました

地域や会員へ情報提供を行っていくために、「かっぱ通信」を年5回発行しました（2、4、7、10、12月発行）。

その他、地域への情報発信力をより高めていくために、「（北川の環境を守ろう）ネームプレート」を主要なイベントで着用するとともに、主要な橋に垂れ幕を設置（クリーンアップ、夏まつり）などに取り組んできました。北山いきものクラブではのぼりを設置しました。また、ホームページの内容の定期的な更新（月1回程度）、定期的なブログの発信（週2回程度）に取り組んできましたが、より訴求力のある内容としていく必要があると思われまます。

北山公園内の「水と緑の掲示板」の掲示を継続し、情報発信力の強化を行ってきました。北山公園・八国山「見どころマップ」では、季節ごとに見ることのできる動植物の写真を掲載し好評でした（春、初夏、夏、秋、冬編を掲示）。ボードの劣化などに伴い掲示方法を変更、写真をコルクボードに貼り付け、別途A3サイズのトピックを掲示するようにしました。

一昨年、土木学会市民普請大賞で準グランプリを獲得しました。これを受けて、北川の落差工解消に向けて1月に水量調査を実施し、2月に受賞の祝賀会（前代表の三島さんの送別会）を開催しました。

個々の活動にあたっては、引き続き、会員内外の交流の拡大、会員各自が興味のあるテーマやイベントに参加しやすい体制づくりをめざしてきました。かっぱ通信やホームページ、かっぱブログ、メール、ロコミを活用し、イベントや調査、打合せなどへの参加の呼びかけや各活動の実施結果などについて、情報提供の充実化を図ってきました。

8 活動する人の層の底辺の拡大に努力してきました

北山公園や北川流域の自然環境の保全や再生を行っていくためには、活動していく人の層の底辺の拡大、特に若い世代の活動層の拡大を図っていくことが重要です。そのために、北山わんぱく夏まつりや川そうじ（クリーンアップ）、外来生物の駆除、水と緑の掲示板の編集、環境学習の支援など、ボランティア募集を拡大、強化すべく努力してきました。様々な方々に参加していただけるようできるだけ多くのイベントを開催するとともに、ボランティアの募集情報を適切な時期に適切な方法で行っていくことや、積極的な声掛けなどにより、間口の広い受入体制を心掛けてきました。

* 2017年の活動記録 *

日時	曜	イベント	場所
1月9日	祝	臨時定例会	サンパルネ
1月9日	祝	北川の落差工調査	北川
1月28日	土	井の頭池かいぼり報告会	三鷹市公会堂
2月4日	土	北山公園整備等意見交換会に参加	ふるさと歴史館
2月4日	土	定例会＋新年会	茫々亭
2月5日	日	南台・富士見小土曜講座「野鳥を見よう」を支援	八国山、北山公園
2月12日	日	狭山公園わいわいミーティング	狭山公園
2月13日	土	定例川そうじ	北川
2月19日	日	かっぱ通信116号発行	廻田公民館
2月25日	土	「北山公園・八国山見どころマップ」春編の編集	八国山たいけんの里
2月25日	土	総会	廻田公民館
2月26日	日	かっぱウォーク	空堀川と柳瀬川合流点付近
2月26日	日	土木学会市民普請大賞祝賀会＋三島さん送別会	茫々亭
2月23日	火	八国山緑地生物多様性保全利用計画検討会(東京都主催)に参加	廻田公民館
3月11日	土	定例川そうじ	北川
3月12日	日	狭山公園「湧水の池」の生き物調査に参加	狭山公園
3月16日	木	外来生物駆除作業(網の仕掛け)	北山公園
3月18日	土	春のうららかウォーキングに協力	北山公園、北川
3月18日	土	外来生物駆除作業	北山公園
3月30日	木	外来生物駆除作業	北山公園
4月4日	火	柳瀬川流域ネットワーク懇談会	清瀬
4月8日	土	定例川そうじ	北川
4月8日	土	北山いきものクラブ	北山公園、北川
4月8日	土	外来生物駆除作業	北山公園
4月14日	金	外来生物駆除作業	北山公園
4月17日	月	外来生物駆除作業	北山公園
4月20日	木	外来生物駆除作業	北山公園
4月23日	日	かっぱ通信117号発行	廻田公民館
4月27日	木	外来生物駆除作業	北山公園
4月30日	日	北山わんぱく夏まつり実行委員会	サンパルネ
5月3日	祝	外来生物駆除作業	北山公園
5月6日	土	「北川・八国山・北山公園のいきもの」初夏編の編集、 掲示	八国山たいけんの里
5月6日	土	臨時定例会	サンパルネ
5月11日	木	外来生物駆除作業	北山公園
5月13日	土	北山公園整備等意見交換会に参加	ふるさと歴史館
5月18日	木	外来生物駆除作業	北山公園
5月27日	土	北山小「ヤゴ救出作戦」を支援	北山小
6月1日	火	外来生物駆除作業	北山公園

6月4日	日	身近な水環境の全国一斉調査	北川、前川
6月5日	日	全国一斉水質調査	北川、前川
6月8日	木	外来生物駆除作業	北山公園
6月10日	土	富士見小・南台小「八国山昆虫観察」	八国山
6月10日	土	北山わんぱく夏まつり実行委員会	サンパルネ
6月15日	木	外来生物駆除作業	北山公園
6月23日	金	外来生物駆除作業	北山公園
6月24日	土	北山小「ホタル観察」を支援	狭山公園
6月29日	日	外来生物駆除作業	北山公園
6月26日	日	かっぱ通信 113号発行	廻田公民館
7月1日	土	富士見・南台・北山小「落合川に行こう」	落合川
7月7日	金	外来生物駆除作業	北山公園
7月8日	土	定例川そうじ	北川
7月8日	土	北山いきものクラブ	北山公園、北川
7月9日	日	市主催「外来バスターズ」入門講座	北山小、北山公園
7月9日	日	かっぱ通信 118号発行	廻田公民館
7月10日	月	狭山公園生物多様性保全利用計画検討会	狭山公園
7月13日	木	外来生物駆除作業	北山公園
7月15日	土	北山小「八国山昆虫採取」を支援	八国山
7月16日	日	「北川・八国山・北山公園のいきもの」初夏編の編集	八国山たいけんの里
7月17日	祝	夏まつり実行委員会	サンパルネ
7月21日	金	外来生物駆除作業	北山公園
7月22日	土	狭山公園わいわいミーティングに参加	狭山公園
7月22日	土	狭山三公園管理運営協議会に参加	多摩湖ふれあいセンター
7月27日	木	外来生物駆除作業	北山公園
7月29日	土	北川堰き止め作業	北川
7月30日	日	市主催「ウシガエル&ザリガニ捕獲大作戦」	北山公園
8月5日	土	夏まつり準備	北山公園、他
8月6日	日	北山わんぱく夏まつり	北山公園、北川、八国山
8月6日	日	外来生物駆除	北山公園
8月7日	月	北川の堰撤去作業	北川
8月14日	月	外来生物駆除作業	北山公園
8月22日	火	外来生物駆除作業	北山公園
8月31日	木	外来生物駆除作業	北山公園
9月2日	土	北山公園整備等意見交換会に参加	ふるさと歴史館
9月9日	土	定例川そうじ	北川
9月9日	土	北山いきものクラブ	北山公園、北川
9月9日	土	外来生物駆除作業	北山公園
9月10日	日	市主催「外来種バスターズ入門講座」	北山小、北山公園
9月15日	金	外来生物駆除作業	北山公園
9月16日	土	北山小「魚とり」を支援、富士見+南台は雨で中止	北川
9月16日	土	定例会	サンパルネ
9月23日	土	「北川・八国山・北山公園のいきもの」秋編の編集	八国山たいけんの里

9月26日	火	外来生物駆除	北山公園
9月30日	土	市主催「セイタカアワダチソウ駆除大作戦」	北山公園
10月7日	土	北山小・ヤゴいかだづくり→講座は雨で中止	北山小
10月8日	日	かっぱ通信119号発行	廻田公民館
10月10日	火	外来生物駆除作業	北山公園
10月21日	土	トトロのふるさと基金の散歩会下見を案内	北山公園、八国山
10月26日	木	外来生物駆除作業	北山公園
11月5日	日	北川の在来種(魚類)を狭山公園宅部池に移入	北山公園、北川、狭山公園
11月11日	土	定例川そうじ	北川
11月11日	土	北山いきものクラブ	北山公園、北川
11月11日	土	外来生物駆除作業	北山公園
11月11日	土	外来生物慰霊祭	北山公園
11月25日	土	南台・富士見小土曜講座「野鳥を見よう」を支援	中央公園、空堀川
11月25日	土	「北川・八国山・北山公園のいきもの」冬編の編集	八国山たいけんの里
11月26日	日	市主催「外来種マスターズ入門講座」	北山小
12月9日	土	定例川そうじ	北川
12月10日	日	かっぱ通信120号発行	廻田公民館
12月18日	月	狭山公園生物多様性保全利用計画検討会	狭山公園

2. 2018年度の活動方針と年間計画

1 北山公園の水環境の改善と在来生物の保護

北山公園での生物多様性を保全していくために、2018年4月にしょうちゃん池のかいぼりが予定されています。かいぼりの実施にあたっては、市との役割分担を明確にしながら、最大限の実施協力を行っていきます。また、かいぼりの実施に併せ、乾燥化しているしょうちゃん池奥の湿地環境を改善していくために池（南側）から導水すること、動植物が生息・生育しやすいしょうちゃん池としていくために、池の水際（水面～湖底）に積まれている玉石を移動し、自然に近い状態の水際（水中の地形）としていくこと、また水際に在来植物の植生帯をつくっていくことの実現に向けて調整を進めていきます。また、昨年市が主催した「外来種バスターズ入門講座」に参加した方々との連携や、かいぼりの意義などについての一般市民へのアピールを行っていきます。

トウキョウダルマガエル等の希少種を保全していくなどのために、2018年11月以降、菖蒲田の水路の改修工事が実施される予定ですが、工事の状況を見守り、必要に応じて工事の妥当性などについて、川端会議の場などで協議していきます。

引き続き通年での水（流水と止水）確保を目指し、川端会議の場で具体的な対応策（北川からの取水方法や地下水の利用（浅井戸）、既存池（止水）の活用（改良）など）について検討していきます。在来生物にとって貴重な生息、生育の場となっており、北山公園の景観としてなくてはならない、そして東村山では消滅寸前となってしまった水田（民有地）について、本格的な稲作再開とオリーブ植樹後の動向も注視しつつ、将来にわたり水田の環境を守っていくための仕組みづくり（例えば市民田んぼ）について、引き続き川端会議の場で協議していきます。また、生物多様性を保全していくために定められた目標種の生息・生育状況を注視し、必要に応じて川端会議の場で協議していく方向とします。

ウシガエルやアカミミガメ、アメリカザリガニなど外来生物の駆除に引き続き取り組みます（後述）。

2 北川や北川流域の環境の改善

北川では、北川の落差工（小さなダム）解消プロジェクトの中で、落差工の改善策案を検討し、「アユが遡上する北川」を目標に、市民プランという形で具体策の提案を行う予定で、基礎データとなる水量調査を継続実施します。

川そうじ（クリーンアップ）は、当会にとって中心となるイベントであることから、さらに自治会や他団体との連携等活動の輪を広げていく方向で工夫していきます。

外来生物の防除（後述）も活動の中心になりますが、人為的に放流されたコイについても、在来水生昆虫等の脅威となっているため注視していきます。

かいぼりを実施した北川最上流部、狭山公園内「たっちゃん池」の再生を目指し、引き続き公園管理者等との意見交換を行っていきます。また、在来生態系の再生のために、2018年4月に予定されている北山公園のかいぼりに合わせ、北山公園、北川の魚類を池に再度、放流することを検討します。

北川の水源涵養域である八国山緑地について、生物多様性保全のために都の「多様な生物が生息する都市公園づくり事業」完了したところですが、北川流域を含む東村山市全域について、生物多様性基本法の努力義務である「生物多様性地域戦略」を策定することを市に提言していきます（H27年3月現在羽村市・あきる野市等62市区町村が策定済）。

3. 外来生物の防除

引き続き、北山公園を中心とした流域の外来生物の防除に取り組んでいきます。

今年度も特にトウキョウダルマガエル等の希少種にとって大きな脅威となっているウシガエルやアメリカザリガニの捕獲を継続していきます。また、北山公園内「しょうちゃん池」などでアカミミガメの防除を継続していきます。また、4月にしょうちゃん池で予定されている市主催のかいぼりについて、市との役割分担を明確にしながら、最大限の実施協力を行っていきます（再掲）。これらの実施にあたっては、外来種バスターズ入門講座への参加者との連携や外来種の駆除大作戦の定例化などについて検討していくこととします。

外来生物を防除していくためには、市民に対して外来生物の現状と問題点をより強力にアピールしていく必要があると思われませんが、北山公園水と緑の掲示板や「北川ルール」の看板、かっぱ通信などでのアピールに加え、新たに6月の菖蒲まつりでの外来種や在来種の展示・解説・募金活動などの実施について検討していく方向とします。

2018年度より北山公園の管理業務が委託化されるのを契機に、外来生物の捕獲についての市と当会との役割分担（市の施設の利用、捕獲、処分、市民への周知など）について明文化し、根拠のあるしっかりとした協働体制の構築を目指す方向とします。

4 継続的な環境調査の実施と調査結果の発信

地域の環境の現状を把握して今後の活動に生かしていきます。北山公園内の水路や池などを含めた、水質や魚類や底生生物などの生息状況や、北川に投げ捨てられるゴミの回収を通じた種類や量、ウシガエルやアカミミガメなどの防除活動の機会を利用した北山公園や北川での外来生物の生息実態の継続的な把握に取り組んでいきます。また、土曜講座などのイベント時に得られたデータも含めて、記録としてきちんと残していきます。

また、4月に開催予定の北山公園しょうちゃん池のかいぼりの魚類調査結果、この5年間で取り組んできた外来生物の捕獲結果などについて、効果的な情報発信を目指していきます。

【主な環境調査等の予定】

水質 全国の川・一斉調査 6月

生物 魚類等

定期調査 8月(夏まつり)

外来生物 3～11月 ウシガエルやアカミミガメ等外来生物の捕獲時

しょうちゃん池(かいぼり) 4月

北山公園内の水路や池(随時)

土曜講座等(随時)

底生生物

定期調査 全国の川・一斉調査時 6月

土曜講座等(随時)

全国水生生物調査

昆虫類

土曜講座・みどりの楽校等

チョウ類任意調査(春～秋記録)

鳥類

土曜講座・みどりの楽校等

任意調査(原則毎月記録)

その他

植物、カエル類、キタリスなど(時期等未定)

河道内のゴミ

5 北山わんぱく夏まつりの開催と環境学習の支援を継続

北川や北山公園の自然環境の保全や再生のためには、主として次世代を担う地域の子どもたちを対象とした環境学習への取組みがとても重要です。

北山わんぱく夏まつりは、2016年から実施体制の大幅な見直し、委員会の早期の立上げを行いました。2018年も同様に実行委員会を早期に立ち上げサポーター体制等の充実に取り組みます。わんぱく夏まつりのイベントとして実施されてきた「虫取りハイク」については、その実施母体である「東村山市みどりの未来ミーティング」「東村山市みどりの楽校」での検討(定点観測型の観察を動機づける、生きものにふれる体験コーナー等を検討中)を受けて内容を変更していきます。

小学校の土曜講座への参画は重要な取組みとして位置付け、内容をより充実させていきます。なお、引き続きサポーターの人的資源の不足を抱えており、参加してくれた父兄や若い世代を取り込んで、より多くの会員の参画が得られるよう働きかけていきます。また小学1年から6年までの参加者が対象となっており、同時に解説することが難しくなっています。年齢層別に解説者を分けて実施することを検討します。

昨年創設した北山いきものクラブの活動(北山公園で水槽展示をしつつ、子どもたちに川などで遊んでもらう)は今年も継続して実施します。また土曜子ども講座参加者、外来種バスターズ関係者、化成小学校への呼びかけを行います。いきものクラブでは、外来種駆除作業と日時を合わせ外来種の展示をしています。北山いきものクラブへの来場者が外来種駆除作業もできるよう胴長の貸与を検討します。

6 市役所や関係団体との連携を重視

北山公園や北川の環境保全、多摩湖緑地の維持管理等のために、引き続き市との連携を重視していきます。川端会議への参加にとどまらず、4月に開催が予定されている北山公園「しょうちゃん池」のかいぼりや北山わんぱく夏まつり、北川クリーンアップ、外来種の駆除などのイベントの機会を通じて連携を図っていきます。

また、様々な課題の解決を目指し、引き続き西武・狭山丘陵パートナーズや八国山たいけんの里自然部会、生態工房、東村山の原風景を守る会、空堀川に清流を取り戻す会、柳瀬川水系水環境連絡会、柳瀬川流域ネットワークなどとの連携を強化していきます。

7 地域への情報発信力の強化

北山公園や北川流域の自然環境の保全や再生について、市民の理解を広く得ていくために、北川かっぱの会の活動や北川流域の自然のすばらしさや問題点についてアピールしていきます。アピールにあたっては、より訴求力を高めた内容とし、調査結果を踏まえた提言活動の強化(外来種の防除、希少種の保全、ゴミなど)を目指します。

かっぱ通信については、引き続き年5回発行(2、4、6、10、12月)していきます。また、フェイスブック、ブログ、ホームページの内容充実に取り組んでゆきます。フェイスブック、ブログ、ホームページのそれぞれの特徴を生かし、それぞれの役割を明確にします。

また、かっぱの会の活動内容を紹介したチラシの作成を検討します。北山いきものクラブや、わんぱく夏まつりの会場等、ピンポイントで配布します。

今年度も北山公園内の「水と緑の掲示板」を活用し、八国山や北山公園、北川の見どころを紹介するマップや、外来生物関係の情報、イベント情報等の掲示について継続して取り組んでいきます。

2016年に当会で作成した「北川・八国山・北山公園いきものマップ」は初期の配布は終えまし

たが、その後も継続的に土曜子ども講座等のイベントや、市役所の情報コーナーで配布しており、情報発信の一翼を担っています。

8 活動する人の層の底辺の拡大

北山公園や北川流域の自然環境の保全や再生を行っていくためには、活動していく人の層の底辺の拡大、特に若い世代の活動層の拡大を図っていくことが重要です。そのために、北山わんぱく夏まつりや北山いきものクラブ、川そうじ（クリーンアップ）、外来生物の駆除、水と緑の掲示板の編集、環境学習の支援など、ボランティア募集を拡大、強化していきます。ボランティアの募集にあたっては、これまでとは異なるチャンネルで参加者を募る、ファミリー層が参加しやすいイベントづくり（とにかく楽しいイベントづくり、人と人との出会いの場の形成など）、他団体との連携などを目指していくこととします。また、新たなイベントの開催（野鳥観察会、キノコ観察会など）を目指すとともに、積極的な声掛けなどにより、間口の広い受入体制を整えていきます。

* 2018年の年間スケジュール予定*

日時	曜	イベント	場所
1月6日	土	富士見・南台小「野鳥観察」を支援	八国山、北山公園
1月14日	日	八国山わいわいミーティングに参加	八国山、多摩湖ふれあいセンター
2月10日	土	会員向け野鳥観察会	狭山公園
2月10日	土	定例会	狭山公園
2月12日	休	「北川・八国山・北山公園のいきもの」春編の編集	八国山たいけんの里
2月17日	土	深大寺「かいぼり」に参加	深大寺
2月17日	土	北山公園整備計画等意見交換会	ふるさと歴史館
2月25日	日	かっぱ通信121号発行	廻田公民館
3月10日	土	総会	中央公民館
3月11日	日	狭山公園湧水の池の生き物調査に参加	狭山公園
3月18日	日	狭山丘陵フォトロゲイニングに協力	北山公園、北川
3月18日	日	外来生物駆除	北山公園
3月31日	土	外来生物駆除	北山公園
3月31日	土	定例会	サンパルネ
4月14日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除	北川、北山公園
4月21日	土	北山公園「しょうちゃん池」かいぼり	北山公園
		かっぱ通信122号発行	廻田公民館
		定例会	
		夏まつり実行委員会	
		「北川・八国山・北山公園のいきもの」初夏編の編集	
5月12日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除	北川、北山公園
5月12日	土	北山公園整備等意見交換会に参加	市民センター
5月20日	日	北川クリーンアップ	北川
		北山小「ヤゴ救出作戦」を支援	北山小
6月3日	日	全国一斉水質調査	北川、前川
6月9日	土	菖蒲まつりに出展	北山公園

6月9日	土	定例川そうじ 夏まつり実行委員会、定例会 外来生物駆除 富士見・南台小「八国山昆虫採取」を支援 北山小「ホタル観察」を支援 富士見・南台・北山小「南沢湧水で遊ぶ」 「北山公園・八国山見どころマップ」夏編の編集 かっぱ通信123号発行	北川 北山公園 八国山 狭山公園 南沢湧水 八国山たいけんの里 廻田公民館
7月14日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除 外来生物駆除 北山小「八国山昆虫採取」を支援 夏まつり実行委員会	北川、北山公園 北山公園 八国山
7月28日	土	北川堰き止め作業、夏まつり買出し 狭山三公園管理運営協議会に参加	北川、他
8月4日	土	夏まつり準備	北山公園、他
8月5日	日	北山わんぱく夏まつり 外来生物駆除	北山公園、北川、八国山 北山公園
8月6日	月	北川の堰撤去作業	北川
8月11日	土	定例川そうじ	北川
9月8日	土	北山公園整備等意見交換会に参加 外来生物駆除	市民センター 北山公園
9月8日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除 北山小「魚とり」を支援 富士見・南台小「トンボとりと魚とり」を支援 「北山公園・八国山見どころマップ」秋編の編集 定例会 北山小「ヤゴいかだづくり」を支援 外来生物駆除	北川、北山公園 北川 北山公園、北川 八国山たいけんの里 北山小 北山公園
10月13日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除 北山小「トンボとりとバッタとり」を支援 かっぱ通信124号発行	北川、北山公園 北山公園 廻田公民館
10月21日	日	北川クリーンアップ	北川
10月21日	日	外来生物の慰霊祭	北山公園
11月10日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除 富士見・南台小「野鳥を見よう」を支援 「北山公園・八国山見どころマップ」冬編の編集 定例会 かっぱウオーク	北川、北山公園 中央公園、空堀川 八国山たいけんの里 ?
12月8日	土	定例川そうじ かっぱ通信125号発行	北川 廻田公民館